

円仁(慈覚大師)
えんにん
平安京遷都・794 =

僧。最澄を継いで天台宗を興隆、山門派の祖となり、藤原良房と伴善男両者から信奉された。

下野国都賀郡に生まれる。俗姓は壬生氏。

胆沢城設置・802 = 8歳：兄に従って経史を学び、大慈寺の広智の門に入って、**仏教の修行を開始。**
..... 803 = **9歳**：

桓武天皇没・806 = 12歳：

..... 808 = 14歳：広智に伴われて比叡山に登り、**最澄(27年上)と会い、**

葉子の変・810 = 16歳：**その弟子となる。**

..... 812 = **18歳**：

..... 813 = 19歳：試業に及第し、

凌雲集・814 = 20歳：**得度。**

..... 816 = 22歳：東大寺で具足戒を受け、叡山の教師となって諸寺で講義する。

..... 817 = 23歳：最澄の東国巡錫に従い、上野・緑野寺で**最澄から伝法灌頂を受け、**

満濃池・821 = **27歳**：

最澄没・822 = 28歳：**最澄から一心三観の妙義を受けた後、その示寂に会い、**

嵯峨上皇・823 = 29歳：比叡山に籠り始めたが、

..... 828 = 34歳：乞われて籠山を中止し、講義を再開する。

..... 830 = **36歳**：

..... 832 = 38歳：伝燈満位を授けられる。

病気で横川の草庵に3年間籠った後、

空海没・835 = 41歳：**入唐請益僧に選ばれ、**

遣唐使17遭難 836 = 42歳：首椀殿院の式などを定めた後、出発するも、逆風のため戻り、

遣唐使再遭難 837 = 43歳：再び漂着した後、

最後の遣唐使 838 = 44歳：**ようやく揚州に上陸して、入唐。**

最終遣唐使帰 839 = **45歳**：唐僧と交流し、天台山行きを阻まれたこともあって、**唐に留まることを決意、**

..... 840 = 46歳：長大な旅に出、五台山の聖跡を礼拝、志遠より天台宗義を受け、

..... 841 = 47歳：長安に入って大興善寺の元政から金剛界を、青竜寺の義真から胎蔵界および蘇悉地の大法を授かる。

承和の変・842 = 48歳：

この間、多くの經典等を入手、密教の事相は金剛界・胎蔵界・蘇悉地の3部を大法とするが、真言宗の空海が未受であった蘇悉地をも相承し、天台宗密教(台密)の真言宗に対する劣等感が無くなった。在唐10年間の詳細な行状を記す旅行記「入唐求法巡礼行記」は、唐末の社会史や歴史地理の研究に資する。

..... 845 = 51歳：**武宗の仏教弾圧にあい、外国僧追放令のため長安を去り、**

円仁帰国・847 = 53歳：**帰国。将来した經典559巻、曼荼羅・舎利・法具類21種の「入唐新求聖教目錄」を作成。**

俘囚反乱始・848 = **54歳**：**上洛後、朝廷に奏して毎年国家鎮護のため灌頂を行うことを認められ、伝燈大法師位を授けられ、**

..... 849 = 55歳：**初めて延暦寺で灌頂を修し、内供奉十禅師に任ぜられた。他方、延暦寺内の堂などを次々と整備し、**

文徳天皇即位 850 = 56歳：**文徳天皇が即位すると宝祚を祈る道場として比叡山に總持院を建て、年分度者2人の増加を請い、彼のもたらした法を修学させた。天台宗の密教化を推進し、教勢伸張に努力する。**

..... 851 = 57歳：**「金剛頂経疏」を著す。五台山の念仏三昧の法を諸弟子に伝授し、初めて常行三昧を修したという。これが不断念仏に変えられて民間にも普及し、浄土教の発展につながった。**

..... 854 = 60歳：**天台座主に任ぜられ、**

..... 855 = 61歳：**「蘇悉地経疏」を著す。**

..... 856 = 62歳：**「文徳天皇・惟仁親王・藤原良房に灌頂や授戒を行い、以後、皇族や貴族に灌頂や授戒を行うことがしげくなり、「都下に於て灌頂を蒙り戒を受くる男女一千二百七十一人」と伝える。**

国守追及始・857 = **63歳**：

人民摂政の実 858 = 64歳：

..... 859 = 65歳：円珍が唐より将来した両部の曼荼羅を見る。「顯揚大戒論」を著す。

富士山噴火・864 = 70歳：**没した。**

2年後に慈覚大師の諡号を贈られた。